

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【社会科】

1. 対象 6年生

- ・自分の考えを持つことができるが、みんなの前で発表するのは苦手な子が多い。
- ・社会科の学習（特に歴史分野）になってから、想像したことを発表することを楽しんでいる。
- ・徳川家康、織田信長、豊臣秀吉などを知っている児童が多く、本単元の学習にも興味を持って取り組めることが想像できる。

2. 単元名 「長く続いた江戸幕府」（全5時間）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	1 人物の働きなどに着目して年表やそのほかの資料で調べ、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制度について理解している。 2 調べたことをノートや思考ツールにわかりやすくまとめ、武士による政治が安定したことを理解している。
思考力、判断力、表現力等	1 人物の働きなどに着目して問いを見だし、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制度について考え、表現している。 2 江戸幕府の政策について相互に関連付けたり総合的に判断したりして、根拠を明確にして江戸幕府の政策の意図や社会の様子を考え、適切に表現している。
学びに向かう力、人間性等	1 江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制度について、予想や学習計画を立てて、主体的に学習問題を追究・解決しようとしている。 2 学習したことをもとに、政治の仕組みが安定するための政策を考えようとしている。

4. 本時の目標

これまで江戸幕府の政策を学んできた子供達が、江戸幕府の政策について比較しながら話し合うことで、それぞれの政策を相互に関連付けながら、江戸幕府が安定した政治を行えた理由について自分の言葉でまとめることができる。

5. 授業展開【**本時**・単元】

解決したい課題や問い

「江戸幕府が長く続いたのはどうしてだろう？」

学習のまとめとして大名への政策、百姓への政策、外国との関りでの政策の三つの政策の順位付けを行う。この際、思考ツール「ピラミッドチャート」を利用し、順位をつけることで、今まで別と考えていた政策それぞれを比べるだろう。また、順位を決めることで、子供達同士の考えや思いのズレを生ませたい。選んだ政策の違いに気付いた子供達は、「あれどうして?」「いやこっちのほうが」と聞きたい、言いたい気持ちを膨らめるだろう。上位に挙げた政策を話し合うことで、自分が気付かなかった政策の良さや問題点に気づき、多面的な視点で捉え直したり、「不要だったかどうか」を考えることで、それぞれの政策同士のつながりに気づき、これまでの学習を、より深めていこう。

考えるための材料

- ・ピラミッドチャート…優劣をつけて表せる。何をどんな順番で選んだのかわかり、友達との考えの違いが一目でわかる。
- ・これまでの学習で配布された資料…自分の主張を確かめる根拠となる。
- ・これまでの学習で使った単元シート…それぞれの政策についてわかったことがまとめてある。「長く続くことにつながったかどうか」という視点で点をつけているので順位をつける際の手がかりとなる。

想定される活動

・ピラミッドチャートを使って大名に対しての政策、百姓に対しての政策、外国に対する政策の三つに順位をつけることで、今までバラバラに考えていた政策の1つ1つを「どっちが重要かな？」と比較するだろう。また友達との考えの同じ点や違いを知り、意図的に関わることで自分の考えを確かめたり、気付かなかった視点で政策を捉え直したりするだろう。また、全体交流の中で、不要だと考えられる政策について考えることで、それぞれの政策同士の関連性に気付きはじめ、どれもが欠かせない政策だったことを実感できるだろう。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

い：位置づける い：意味づける な：成り立たせる

ちょっと言いタイム（2分程度）

い：自分の考えができてから。

い：自分の考えを言葉に出しながら、考えを明確にしたり自信を持ったりするため。意見を伝える練習。

な：ピラミッドチャートやこれまでの単元シートを活用する。

ちょっと聞きタイム（5分程度）

い：ICT 機器等で自分や友達の立場をはっきりさせた後。

い：「自分とは違うけど、どう考えたのかな？」、「同じ考えの人の意見を聞いてみたい。」と自分で選択し、意図を持って聞きに行く時間。（5分程度）

な：ピラミッドチャートの活用。それぞれの考えの視覚化。（ICT）

みんなで話し合いタイム

い：ちょっと言いタイム、ちょっと聞きタイムの後。

い：多面的に政策を捉える。政策同士のつながりに気付く。

な：全体で選んだ政策の理由を話したり、選ばなかった政策に注目したりする。学習状況を把握した上で必要に応じて意図的指名を行う。意図的な切り返しをすることで、政策同士の関連性に気付かせたい。

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

★目指す姿→これまでに学習した江戸幕府の政策について、比較したり関連付けたりしながら、根拠を明確にしながら自分の考えを表現している。ペアでの交流や全体交流の中で自分の考えを深めていけるとよい。

・根拠を持って、自分の考えを語れる姿 「〇〇という理由でこれを一番上にしました。」

・自分のまとめの理由に、さらに理由をつけ足せる。「〇〇という良さもあったんだ。」

「もし〇〇だったら、△△になってしまうんだ。」

・政策同士のうなかりに気付く 「どの政策もつながっている。」

「どれかがなかったらだめだった。」

<まとめ>

江戸幕府は、参勤交代などで大名の力を抑え、人口の多い百姓をきまりをつくって働かせて武士のくらしを支えたり、外国との関わりを限定しながらキリスト教を広げさせないようにして国をおさめるのにじまになる考え方が広がらないようにしたりするなどした。それぞれの政策は、どれもつながっているのだから、このどれもが欠かせないものだった。